

創立 75 周年を祝して

理事長 浅田 順



学校法人霞ヶ浦高等学校は、今年 5 月 1 日で学校創立 75 周年を迎えることになりました。

この間、この 75 年の歴史に、献身的御貢献を賜ってきた学校法人役員、旧職員、同窓会、関係者の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

顧みますと、本校は昭和 21 年 5 月、霞ヶ浦農科大学（現茨城大学農学部）を母体として誕生し、昭和 24 年の学制改革で霞ヶ浦高等学校として独立し現在に至っております。その歴史は、まさに戦後の日本の混乱の中での誕生であり、また繁栄の時代そのものであったと言えます。その中で、本校は昭和 21 年 5 月、高い理想のもと開校式が行われ、昭和 24 年 3 月、旧制農業学校の第 1 回卒業式が挙行され、卒業生を送り出しました。本校は、創立の建学の精神、「真の教育は私学にあり」の理想のもと、営々と伝統と校風を受け継ぎ、75 年の歴史を築いてきました。

そして、令和 2 年 3 月、第 71 回卒業生 483 名を送り出し、卒業生総数 24,852 名を擁し、名実共に文武両道を誇る霞ヶ浦高等学校として発展、充実を期し、卒業生も様々な分野で活躍し、実社会で貢献されており誠に心強い限りです。本校は昭和 52 年以降、生徒急増期を迎え、当時の藤井正巳理事、宮本林校長先生のもと学校環境整備事業が計画され、本館防音校舎をはじめ、中校舎、特別校舎、総合体育館、第 2 グランドの新設、室内練習所、特別合宿所等が相次いで建設され、ここに本校の教育環境施設の充実を見るに至りました。更に、平成 19 年には中学校新設計画のもと、平成 21 年に霞南至健中学校（29 年附属中学校に校名変更）を開校し、中・高併設学校として名実共に霞ヶ浦高等学校の新しい時代を迎えることができました。同時に学校改革のもと、進学、部活動強化策が進められ、特に、サッカー部・硬式野球部を重点とし、施設整備事業のもと平成 26 年大室グラウンド・サッカー場新設並びにクラブハウスの新設、硬式野球部においては、室内練習所、合宿所の新設がなされ、ここに県下に誇る教育活動施設の充実を見ることができました。その上、令和 2 年 3 月 16 日には硬式野球部の新寮「青朋館」の竣工式が取り行われ、部活動のより一層の内容充実を期していくこととなりました。今後も本校発展のために、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

創立75周年を迎えて

校長 下田陽一郎



霞ヶ浦高等学校は、創立75周年を迎えることになりました。この記念すべき日を迎えることができましたのもひとえに、創立以来本校の教育にご支援、ご協力をいただきました地域の皆様方、PTAを始めとした保護者の皆様方、また、本校の教育を支えてこられました歴代の理事長先生、校長先生と多くの教職員の方々、そして何よりも努力を積み重ねた卒業生のおかげであり、心より感謝申し上げます。おかげさまで本校は現在、附属中も合わせて1500名を超える生徒が在籍し、教職員数も約150名の県内でも有数の規模を誇る学校になりました。卒業生は令和3年度末で2万5千余名を数え、地域のリーダーとして社会の発展に貢献しているほか、各界をはじめ国内外で活躍されています。

本校は昭和21年に、太平洋戦争において焦土と化した我が国の再建に向けて、教育こそがその礎になるとの熱き思いのもと、霞浦農科大学(現茨城大学農学部)附属霞浦農業学校として創立されました。以来、昭和、平成、令和と時代は変われども、地元の阿見町はもとより地域から信頼され、選択される学校になるべく、教育活動を展開してまいりました。

また、男子校として始まった本校の質実剛健な気風に加えて、平成16年度より導入した男女共学化により、女子生徒の入学人数も年々増加し、今や男女比率もほぼ半々となり、明るく元気な校風のもとで、学校行事やクラス活動、部活動も活発に行われています。

学習環境面では、ICT教育推進の一環として、令和2年度入学生よりクロームブックの一人一台の導入と校舎内Wi-Fi環境の整備を進め、昨年のコロナ感染拡大による休校時にも、スタディサプリやclassiの利用とリモート授業を実施することで、遅滞なく学習活動を進めることができました。さらに、国際化教育事業の一環として、姉妹校締結を結んだニュージーランドのアオレレカレッジ校からの留学生受け入れは延期となりましたが、ウェブを通じた交流授業を行うなど、世界とつながる霞ヶ浦高校となっております。英検受検指導も進めており、この6年間で準2級・2級合格者数は8倍に増え、令和2年度には1級・準1級合格者も出すことができました。その結果、進学実績も2年連続で国公立大学に20名以上が合格し、難関私大も含めた合格者数は300名を超え、多くの生徒が自分の目指す進路希望を実現しております。

特別活動は、36の運動部、文化部、同好会がありますが、近年特筆すべきことは女子の活躍です。茨城国体が開催された令和元年度には、県高等学校総合体育大会で男子のみならず女子も総合優勝を飾ってくれました。文化部においても、県コンテスト金賞受賞の吹奏楽部に続き、写真部や将棋部でも女子が目覚ましい成績をあげています。令和2年度はコロナ禍の中、ほぼすべての大会・コンクール等が中止になりましたが、硬式野球部が前年の夏の甲子園大会出場につづき2年連続で県大会優勝を果たしてくれました。また、伝統のヨット部のジュニアオリンピック大会での優勝や、女子サッカー部の2年連続での関東大会出場など、各部が代替大会で活躍し、その存在感を県内外に示しています。

霞ヶ浦高等学校は今後も、未来社会を構成していく自立した人間を育成するために、「生きる力」となる学力の獲得・豊かな人間性の涵養・健やかな心身の育成を教育方針とし、主体的に自らの人生を切り開く力を備えた社会人の排出を目指してまいります。

本校発展のためにより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。